

## 研究課題

介護老人保健施設における在宅復帰に影響を与える要因  
～科学的介護推進体制加算のデータを活用した検討～

### 1. 研究の対象

科学的介護推進体制加算算定者<sup>1)</sup>

※当施設で科学的介護推進体制加算の運用が開始された令和3年4月1日から令和5年3月31日の間に入所して退所した新規利用の方

### 2. 研究目的・方法

目的：

介護老人保健施設とは、在宅復帰・在宅療養支援のための地域拠点としてリハビリテーションを提供し機能維持・改善の役割を担っている施設です。当施設は超強化型老健<sup>2)</sup>として、高い在宅復帰率の維持や全国平均より短い入所期間での在宅復帰や在宅復帰後もまた入所が必要となったら再入所していただける方(以下、リピート利用者)の獲得目指して在宅復帰・在宅療養支援を行っていますが、徐々に入所期間が長期化してきていることやリピート利用者の減少が施設経営の課題となっています。在宅復帰に影響を与える要因については、第20回全国老人保健施設新潟大会にて大塚が発表していますが、その発表から10年以上の時間が経過していることや社会背景および利用者や家族を取り巻く環境などの変遷を踏まえ、在宅復帰に影響を及ぼす要因について改めて調査します。

本研究は、令和3年度介護報酬改定で創設された「科学的介護推進体制加算」の情報等を利用して、介護老人保健施設入所後の利用者の心身機能の変化および在宅復帰に影響を与える要因について調査し、今後の在宅復帰・在宅療養支援の一助となることを目指します。

方法：

本研究の目的について、研究期間内に入所して退所した新規利用者に対して退所先別に2群(在宅復帰群・非在宅復帰群)に分類し比較検討します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、要介護度、認知症の有無、同居家族の有無(介護できる時間)、転帰先、入所日数、日常生活動作能力評価や認知症行動障害尺度、意欲の指標 等

※データは、特定の個人が識別できないよう匿名加工情報として管理します

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

本研究はデータをまとめて解析する調査研究であり、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する

倫理指針（文部科学省・厚生労働省、経済産業省、令和4年3月10日）」第4章の第8 1 (2) イ (ア) に基づき、研究対象者からのインフォームド・コンセント取得は必ずしも要しない。しかし、本研究に関する対象から離脱したい場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも各研究対象者に不利益が生じることはありません。

1) 科学的情報システム(LIFE)へのデータ提出とフィードバックの活用により、PDCAサイクルの推進とケアの質の向上を図る取組みを推進するために、令和3年度介護報酬改定にて創設されました。当施では、令和3年4月より科学的介護推進体制加算(Ⅱ)の算定を開始しています。

**【算定要件】**

科学的介護推進体制加算

- ・(Ⅰ)入所者ごとのADL値、栄養状態、口腔機能、認知症の状況その他の入所者の心身の状況等に関わる基本的な情報に加えて、(Ⅱ)入所者ごとの疾病、服薬の状況等の情報をLIFEを用いて厚生労働省に提出していること。
- ・必要に応じて計画を見直すなど、サービス提供に当たって、(Ⅰ)に規定する情報、その他サービスを適切かつ有効に提供するために必要な情報を活用していること。

2) 厚生労働省が定める要件を満たした在宅復帰・在宅療養支援機能が、最も高いと認められた介護老人保健施設のことを指します。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒372-0006

群馬県 伊勢崎市 太田町 427-3

公益財団法人 脳血管研究所 介護老人保健施設アルボース

TEL：0270-27-8815（直）

研究責任者：相談室 内田 慶一郎